

Pianist Arranger v1.0

ピアノスト・アレンジャー

■ read me ■

- はじめに
- 画面表示
- コントロールバー
- マウス操作
- シェアウェア登録による機能強化
- チュートリアル
- 対応機種/OS
- 制限事項
- プリントサンプル

■はじめに

ピアニスト・アレンジャーは、ピアニストv3.0の演奏を楽譜に変換するものです。一時期、初期のピアニスト用にエディタを用意していましたが、使い勝手が悪く気に入らなかったもので、ピアニストv2.0リリースを機会にエディタの方は、公開を停止してしまいました。しかし、間違えずに弾くのは結構大変で、間違えだらけのものを録音してもつまらないので、ピアニストv2.0のバーチャルラジカセは、使われていないのではないかと思います。そこで、そこで、またもやエディタに挑戦しました。

バーチャルラジカセで録音したテープをピアニスト・アレンジャーに取り込むと楽譜に変換されて画面に表示されます。後は、音符をマウスで操作して気に入らないところを直し保存すれば出来上がり。つまり、へたくそな演奏でも上手に聞こえるピアニストv3.0用テープを作ることができるのです。音符をいじって作曲もできるので、ピアニスト・コンポーザーと言う名前にしようかと思いましたが、それほど高機能ではないので、一歩引いてアレンジャーにしました。

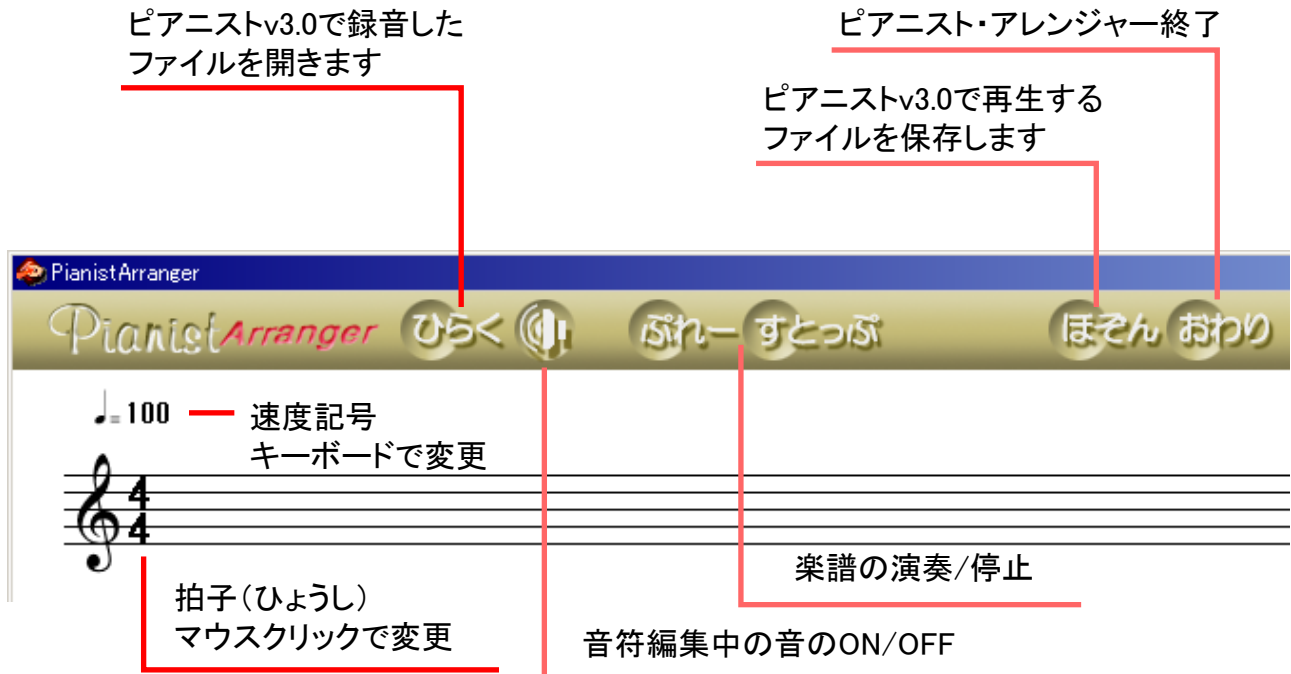
ピアニストでの演奏を修正するという基本機能は、Freeです。シェアウェア登録をしていただくと楽譜のプリントが出来るようになるほか、ピアノ以外の数種の音色が出せるようになります。

ピアニストのユーザーは、結構楽しめると思います。

■画面表示



■コントロールバー



ピアノスト・アレンジャーは、ピアノストのバーチャルラジカセのファイルを編集するソフトですので、他の音楽編集ソフトのファイルを開くことは出来ません。

速度記号は、四分音符を一分間に何個演奏するかを決める記号で、デフォルトで100に設定しています。数字をマウスでクリックするとキーボードから変更することが出来ます。ピアノストのメトロノームは、お飾り程度の物なのですが、一応120に設定してありますので、正しい速度で演奏されたテープの場合は、この数字を120に変更してからファイルを開くと、四分音符が四分音符として表示されます。演奏が不正確なために四分音符のつもりが八分音符として表示されてしまうなど不都合がある場合も、再生時の速度を決めてからピアノストのテープを取り込み後、各音符の長さを変更します。

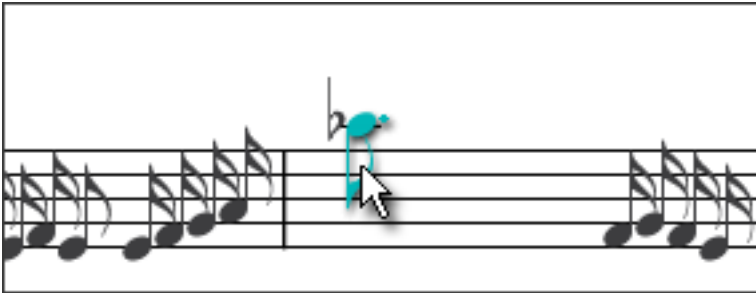
拍子記号は、デフォルトが四分の四拍子で、マウスでクリックすると変更することが出来ます。一小節に分母の音符が分子の個数入っていることをあらわしており、四分の四拍子は、四分音符(分母)が、四個(分子)であることを表現します。

速度記号と拍子記号の変更後は、音符をクリックして楽譜を更新してください。更新せずに「ふれー」ボタンや「ほぞん」ボタンを押してもデータは更新されません。

各ボタンの機能は、図のようになっております。

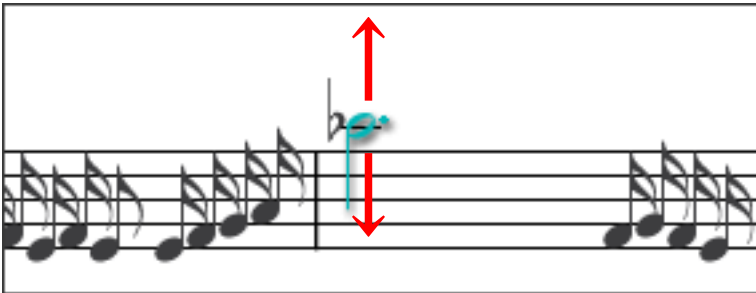
■マウス操作

■スピーカボタンが ON の時、マウスで(ボタンを押さずに)音符をなぞると音が出ます。



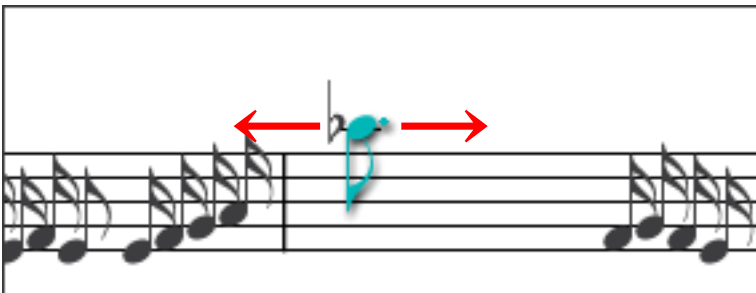
修正した前後の部分の音を確認する時に使用します。「ふれー」ボタンには曲の途中から再生する機能が無いので、マウスを使ってチェックしたい部分を再生します。

■音符をマウスで上下にドラッグすると音程を変えることができます。



コントロールバーのスピーカがONの時は、音が出ます。
マウスボタンを離すと楽譜が書き換えられます。

■音符をマウスで左右にドラッグすると音の長さを変えることができます。



マウスボタンを離すと楽譜が書き換えられます。
音程と音の長さを同時に変更することは出来ません。一度マウスボタンを離して楽譜が更新されたあとで、もう一度音符をクリックして次の操作を行ってください。

■ 音符をダブルクリックすると「音符編集」ダイアログボックスが出ます。

(Windowsは、右クリックも可能)



- 消す ー クリックした音符を消します。
- 複製 ー クリックした音符の次に、同じ音符を複製します。
- 休止符 ー クリックした音符を休止符に変えます。
- キャンセル ー 操作をキャンセルしてダイアログボックスを閉じます。

新しい音符や休止符を追加する時は、音符を複製してからその音符の音程や長さを変更する。又は、その音符を休止符に変更するという手順を踏みます。休止符を音符に戻すことは出来ませんので、休止符を消して、隣の音符を複製します。

■ 自動タイ機能



音符の長さを変えると、小節の中に音符が収まらなくなることがあります。その場合、音符を小節の縦棒の前後で分割してタイを付けます。音符を削除したり、長さを短くしたために小節中の音符が足りなくなった場合は、次の小節から音符が流し込まれます。自動タイ機能により分割された音符が中途半端な長さになった場合は、近似の長さの音符に強制変換します。

タイ付の音符をクリックするとタイで結ばれた合計の長さの音符が表示されます。

(縦棒後ろの音符は、表示だけで編集することは出来ません)

休止符も同様の処理がなされますが、タイは、表示されません。

また、楽曲の最後には、終端記号が付加されますが、最終小節内の音符の長さは成り行きで表示するだけですので、休止符などを加えて楽譜として完成させてください。

■シェアウェア登録による機能強化

■画面右上をクリックすると登録ダイアログボックスが出ます。



シェアウェア登録を行いパスワードを受け取った方は、パスワードを入れてください。

■機能強化されたコントロールバー



登録が完了すると新しいボタンが表示され、その機能にアクセス可能になります。

- 「Piano」ボタンをクリックすると「Guitar」「Xphone」「Organ」「Bell」「Harpsichord」に音色を切り替えることが出来るようになります。キーワード通知のメール中にピアニストの音色を増やす方法が書いてありますのでピアニストの方も強化してください。
- 「プリント」ボタンで画面へ移動します。

■プリント画面



プリント画面には、曲名、作曲者名、編曲者名を想定した3つのフィールドがあります。画面には、フィールド枠がありますが、枠はプリントされません。印刷したくないフィールドには、スペースを入れておくと、プリントされなくなります。

- 本バージョンでは、音符のプリントにアンチアリアス付ビットマップを使用していますので、カラーモードで印刷してください。

■プリントボタン



■チュートリアル

TAPEフォルダ中にサンプルのファイルが入っています。

- ピアニストで適当に曲を作りながら録音したのが、music_no1.TXTです。
- そのファイルをピアニストアレンジャーで開いて、編集したのが、music_no1_fin.TXTです。
- 出来た楽譜を仮想プリントドライバーである、adbe Acrobat Distiller 5.0 を使用して、PDFファイルに出力したのが巻末のプリントサンプルです。

かったるい曲になりましたが、とりあえず生まれて始めての作曲が出来ました。

■対応機種/OS

IBM PC 互換機	Windows95/98/NT/ME/NT2000/XP
PPC Macintosh	MacOS 7.61以上くらいで動きます。

両OSとも、Macromedia ShockWave Player が必要です。
大抵のPCにはインストール済みですが、動かない場合はインストールしてください。
ダウンロードサイトは、こちら <http://www.macromedia.com/jp/downloads/>

■ピアニストv3.0 -- Freeウェア ダウンロードサイト

このソフトウェアを使うには、ピアニストv3.0 --Free が必要です。
下記のサイトからダウンロードしてください。

<http://www.bekkoame.ne.jp/~nishide/>

■制限事項

- 和音を表記できません。
- 調号を表記できません。したがって、ハ長調以外の譜面には対応していません。
(音符に臨時記号を付ければ、音程の再現は出来ます)
- 臨時記号は、本来その小節内で有効ですが、ピアニスト・アレンジャーでは、各音符につける必要があります。したがって、ナチュラルはありません。
- タイの後ろの音符には、加線と派生音記号(シャープやフラット)は表示されません。
- 五線譜は、7行です。
- 音符の最大数は、300です。
- 小節の縦棒は、最大30本です。
- 楽譜のプリントアウトは、シェアウェア登録ユーザーのみの特権です。
- ピアノ以外の音の再生は、シェアウェア登録ユーザーのみの特権です。

アップデート情報は、<http://www.bekkoame.ne.jp/~nishide/>

PianistArranger及び関連ファイルに関する全ての著作権は作者に属します。

注、本プログラムを使用して生じたいかなる損害にも作者は一切責任を持ちません。

本書類中の固有名詞は、各企業の登録商標です。

2002/07/25 西出 順吉

生まれて初めて作った曲

作曲：西出 順吉

編曲：西出 順吉

♩ = 100

The musical score is written for a single melodic line in 4/4 time, with a tempo of 100 beats per minute. The key signature is one flat (B-flat). The score consists of four staves of music, followed by three empty staves. The first staff contains 16 measures, the second 16 measures, the third 16 measures, and the fourth 16 measures. The melody is composed of eighth and quarter notes, with some rests. The fourth staff ends with a double bar line. The three empty staves below are provided for accompaniment or other instruments.